ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-CH1
取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能やその他情報については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部
東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0785
FNEG-NJ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

- ■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■内部に水や異物が入ったとき
- ■ AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン / マイクロホン端子にはオプションのイヤホン / マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。
機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

使用前のご注意

■ご使用環境
本機は防水構造ではありません。
雨や雪が直接かからないように使用し、濡れた場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
- 海上、山頂など条件のよい所　：2km またはそれ以上
- 河原など障害物のない平地　　：500m ～ 1km 程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地：500m 程度
- 市街地のような障害物の多い所：200m 程度

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約５秒間キー操作がないとこの機能が動作します。
信号を受信するかキー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。
バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが異常ではありません。

■電池について
市販の単三形充電池はご使用になれません。
電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わないおそれがあり、故障の原因となります。
種類の異なる電池や、古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
発熱や液漏れなど、故障の原因となります。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

３分制限（３分以上は連続で送信できません）

送信、受信あわせて３分以内です。
10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計３分になると自動的に送信は停止します。

注意 ３分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約２秒経たないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは PTT キーを押しても送信できません。
受信中に PTT キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープ音を OFF にしているとアラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

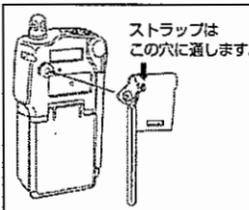
付属品をご確認ください。

- □ベルトクリップ（ネジ１本）
- □ハンドストラップ
- □取扱説明書（本書）
- □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書、レシートを保証書といっしょに保管してください。
ご購入日を証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

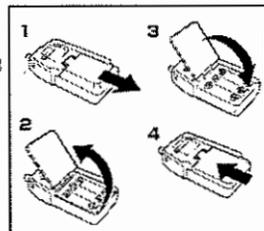
ベルトクリップの取り付け

取り付け穴にネジを合わせ、ドライバーで取り付けます。

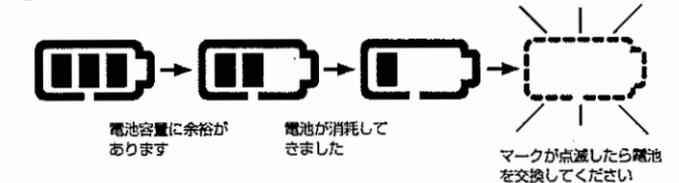
注意 定期的にネジにゆるみがないか点検してください。
ベルトクリップは消耗品です。
スペアー部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ベルトクリップ：EBC-32

ハンドストラップの取り付け

ベルトクリップの穴にストラップを通します。

電池の入れ方

1. カバーを手前にスライドさせます。
2. カバーを起こします。
   ケース内の＋－の印どおりに新しい単三形乾電池を３本入れてください。
3. カバーを倒します。
4. カバーを奥までスライドしてください。

注意 市販の単三形充電池はご使用になれません。
電池カバーを破損・紛失した場合は、ご購入が可能です。販売店へご用命ください。

減電池表示

電池の残容量はディスプレイに４段階で表示されます。

「電源が入らない」「ON ／ OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

ディスプレイ

各部の名前とはたらき

操作キー

▲▼キーを押して通話するチャンネルを選択します。
送信中に▲▼キーを押すと呼び出し音が鳴ります。

チャンネル表示選択

▲キーを押しながら電源を入れると「9+11」のチャンネル表示になります。
→" A" ●が点灯します。
1～9（422.2MHz～422.3MHz:従来のレジャータイプ9チャンネル）
01～11（422.05MHz～422.175MHz：従来のビジネスタイプ11チャンネル）

▼キーを押しながら電源を入れると「20」のチャンネル表示になります。
→" B" ●が点灯します。
01～11（422.05MHz～422.175MHz：従来のビジネスタイプ11チャンネル）
12～20（422.2MHz～422.3MHz：従来のレジャータイプ9チャンネル）

リセット時の初期状態は「9+11」チャンネル表示です。

PTT ホールド機能

[PTT] キーを一度押すと送信を継続する機能です。
もう一度押すと受信待ち受けに戻ります。
この機能を使うとPTTキーを押し続ける必要がなくなります。

▲キーと [GROUP] キーを押しながら電源を入れます。
→" C" ●が点灯します。

同じ操作で機能の ON／OFF が切り替わります。

VOX 機能

マイクに一定の大きさ以上の音声が入力されたとき自動的に送信する機能です。

▼キーと [GROUP] キーを押しながら電源を入れます。
→★が点灯します。

同じ操作で機能の ON／OFF が切り替わります。

FUNC

このキーを押すと 🄵 が点灯し、各操作キーの機能が変わります。

キーロック

約2秒押すと O━ が点灯しキーロックします。
解除するには同じキー操作をします。

リセット

設定状態がわからなくなったときはリセットしてください。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れると、設定が初期化されます。

GROUP / BEEP

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。
[GROUP] キーを押すとグループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる
[FUNC] キーを押し 🄵 点灯中に▲▼キーを押してグループ番号を選択します。

ビープ音

ビープ音を OFF にしているとエンドピー、ベル機能ともに音は鳴りません。

[FUNC] キーを押し 🄵 点灯中に [BEEP] キーを押すとビープ音の ON／OFF が切り替わります。

エンドピー：[PTT] キーを離したときに「ピッ」と鳴る音です。
リセット時の初期状態はビープ音 ON です。

MONI / BELL

相手の音声が途切れるときに使用します。
[MONI] キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。

ベル機能

呼び出しがあると が点滅し、呼び出し音でお知らせします。

[FUNC] キーを押し 🄵 点灯中に [BELL] キーを押すとベル機能の ON／OFF が切り替わります。
→ ON にすると ♫ が点灯します。

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。

交信のしかた

アンテナを立てる

通話距離に大きく影響しますので必ずアンテナを立ててください。

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
[MONI] キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。

チャンネルを合わせる

▲▼キーを押してチャンネルを選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。

チャンネル表示は2通りが選択できます。
1～9、01～11（9+11ch 表示）
▲キーを押しながら電源を入れます。
01～20（20ch 表示）
▼キーを押しながら電源を入れます。

チャンネル03を選択したとき

受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の音声が聞こえます。
ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから [PTT] キーを押します。
→ 送信インジケーターが赤色に点灯します。

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
マイクと口元は約5cm離してください。
一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。
[PTT] キーを離すと「ピッ」というエンドピーが鳴り、受信待ち受け状態に戻ります。

注意 マイク穴にシールなどを貼り付けないでください。通話できなくなります。

グループトークのしかた

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[GROUP] キーを押す

→ グループ番号が点灯します。

グループ番号を選択する

[FUNC] キーを押し 🄵 点灯中に▲▼キーを押してグループ番号を選択します。

グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
→ 同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

グループ番号03を選択したとき

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信制限時間を超過している。	PTTキーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EME-6	ストレートコードイヤホン	EME-52A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-26	カールコードイヤホン	EME-12A	VOX付ヘッドセット
EME-50	ストレートコードイヤホン	EME-13A	VOX付ヘッドセット
EME-15A	VOX付イヤホンマイク	EME-53A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク（グレー）	EME-34A	イヤホンマイク（カナル型）
EME-21AB	イヤホンマイク（黒）	EME-49A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-29A	イヤホンマイク（耳かけ型）	EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-30A	イヤホンマイク（ブーム型）	EMS-59	スピーカーマイク *
EME-31A	イヤホンマイク（マイクロ）		
EME-51A	イヤホンマイク（耳かけ型）		

*VOX 機能はお使いになれません。

チャンネル表示

9+11ch (MHz) ▲+電源 ON			
1	422.2000	01	422.0500
2	422.2125	02	422.0625
3	422.2250	03	422.0750
4	422.2375	04	422.0875
5	422.2500	05	422.1000
6	422.2625	06	422.1125
7	422.2750	07	422.1250
8	422.2875	08	422.1375
9	422.3000	09	422.1500
-	-	10	422.1625
-	-	11	422.1750

20ch (MHz) ▼+電源 ON			
01	422.0500	11	422.1750
02	422.0625	12	422.2000
03	422.0750	13	422.2125
04	422.0875	14	422.2250
05	422.1000	15	422.2375
06	422.1125	16	422.2500
07	422.1250	17	422.2625
08	422.1375	18	422.2750
09	422.1500	19	422.2875
10	422.1625	20	422.3000

定　格

送受信周波数	422.050～422.175MHz／422.200～422.300MHz
電波形式	F3E（FM）
送信出力	10mW
受信感度	-14dBu（12dB　SINAD）
音声出力	70mW 以上（8Ω）
通信方式	単信
定格電圧	DC4.5V（単三形乾電池3本）
消費電流	送信時　約90mA、受信定格出力時　約120mA 受信待ち受け時　約70mA、バッテリーセーブ時　約25mA
動作温度範囲	-10～+50℃
寸法	64（W）×113（H）×32（D）mm（突起物除く）
重量	約110g（本体のみ）

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。